

進路指導だより

No. 2

令和5年 12月 22日(金)発行
東京都立八王子特別支援学校
校長 野口 幹人
担当 支援部 小平 和美

行事が盛りだくさんだった2学期も終わりに近づき、今年も残す所あと少しとなりました。3学期は行事の少ない分、日々の生活をじっくり見直すチャンスであります。やりたいこと、できるようになりたいことに、毎日の学校生活の中で御家庭と連携しながら丁寧に取り組み、次の学年につなげていきましょう。

今回の進路指導だよりでは、中学部1年生の作業学習の様子と進路講演会の報告をお伝えします。

◎進路行事の今後の計画

学年	実施日	内容	ねらい
小5	2/1 (木)	校内の仕事の見学(栄養士、主事、経営企画室職員など)	・身近な環境の中で働く人や仕事について知り、興味や関心をもつ。
小6	1/25 (木)	本校中学部見学(作業学習の見学と体験)	・中学部の授業を見学し、進学へのイメージをもつ。
中1	2/7 (水)	八王子西特別支援学校見学	・高等部の進学へのイメージをもつ。
中2	1/24 (水)	社会福祉法人由木かたくりの会・由木工房見学	・事業所の見学を通して働くことへの意識をもつ。 ・見学に相応しい態度やマナーを学ぶ。

※第3回進路保護者研修会は、2月15日(木)、16日(金)9:05~12:00 八王子西特別支援学校で行われる事業所説明会に参加し、地域の事業所の特色などについての説明を聞きます。

◎中1 作業学習の様子

中学部1年生の作業学習では、ビーズ製品の製作を行っています。作業学習のねらいは、製品を作る技術を学ぶことではなく、①働くことへの意識や意欲、態度の形成②挨拶や報告などのコミュニケーションスキル③指示やルールを理解して守る主体的な態度の形成④作品ではなく製品(商品)を作る丁寧な作業を学ぶことがねらいです。はじめは働くということの捉え方が難しくできないことが多かったのですが、毎週継続して取り組むことで2学期には挨拶や報告、ルールを守って仕事をするなど中学生らしく取り組むことができるようになりました。『継続は力なり』とよく言いますが、生徒の様子を見ていて本当にその通りだと感じています。

富士森祭では、初めてお客様に販売する作業販売を経験しました。10月に入ってから富士森祭で販売を行うことを目標に丁寧に製品を作ること、販売個数のノルマを達成するために効率的に作業を行うことなどに真剣に取り組んできました。また、販売時に失礼のないように、会計に誤りのないように、販売練習も重ねました。実際に販売をしてみて、生徒たちは製品が売れる嬉しさ、お客様に接する楽しさなどを感じられたようです。

◎ 進路講演会報告

12月6日、第2回進路保護者研修会(講演会)がありました。本校卒業生保護者で、八王子市知的障害者相談員をされている佐々木美和様にお越しいただき、「自立と社会参加に向けて我が子にどう関わるか」というテーマでお話をいただきました。今は成人されて地域の事業所で働いている息子さんの成長の様子を映像で見せていただきながら、社会参加に必要なことを、本人に関することと、環境に関することに分けて解説してくださいました。「本人ができることや好きなことを増やしたい、笑顔でいられる場所を増やしたい」という思いで育ててこられた、ということですが、特に思春期の頃は、「なんでできないの」「どうしてわかってくれないの」と悩まれたこともあったそうです。そこでついつい口出ししてしまうことを見直し、シンプルな言葉掛けをするようにして、親子の距離感を調整した、というお話が印象的でした。また、エプロンの紐、お箸など、その時々担任と話しながらできるようになったということで、「こんなことができるようになったらいいな、というのを先生に伝えて、学校を120パーセント活用してほしい」というお話もありました。和やかな雰囲気の中、体験に基づいたお話を伺い、参加した保護者の方からは「笑顔で将来も過ごせるよう、頑張る活力をもらった」など、たくさんの感想をいただきました。